

市民提案型協働事業 平成23年度実施提案一覧(提案7事業、選考7事業)

No.	事業名	団体名	提案事業費	事業の目的と内容
		主管担当課	(市負担分) (団体負担分)	
1 ○	市民活動団体間の連携強化と活動拠点の機能強化	ひらつか市民活動連絡協議会	387,900	「市民活動団体の意見集約」「団体間の連携強化」「活動拠点としての相談機能の強化」を目的とし次の事業を実施。①アンケートの実施、②まちづくりフォーラムと講演会の開催、③市民活動センターまつりで相談機能の強化、④分野別グループ部会の開催、⑤報告誌の作成と発行。
		協働推進課	市(370,900) 団(17,000)	
2 ○	協働事業の情報発信	ひらつか自治体財政研究会	509,000	市民協働の取り組みを広く市民に周知することで、市民の理解を深め、まちづくりの参加の機運を高めることを目的に次の事業を行う。①協働情報紙の発行・配布、②市民活動団体や行政へのアンケートの実施、③協働座談会の開催、④協働事例の説明会等での紹介。
		協働推進課	市(457,800) 団(51,200)	
3 ○	小学生向け財政パンフレットの作成	ひらつか自治体財政研究会	214,400	未来の平塚市を担う子どもたちが、市の財政について関心をもってもらうために次の事業を行う。①小学生向けに、平塚市の財政を紹介したパンフレットを作成し、社会科の授業用として提供する、②教師の指導用として、説明資料を作成する。
		財政課、指導室	市(169,600) 団(44,800)	
4 ○	「地域猫」への取り組み	平塚のら猫を減らす会	409,000	飼い猫が捨てられ、異常繁殖し、地域で被害やトラブルが発生している。これを地域の問題として捉え、この問題を解決することを目的に次の事業を実施。①講演会等の開催、②地域猫推進メンバーを結成、地域に派遣してアドバイスと指導を行う、③地域猫管理の地区の選定、自治会との打合せ、④定着化のための関係者との話し合い、情報交換、講習会の実施。
		環境政策課	市(290,000) 団(119,000)	
5 ○	一般家庭での生ごみ処理推進事業	ごみを活かす会	296,200	ごみ減量化の取り組みとして、生ごみ処理相談員を養成するための講座の開催(基礎講座2日、実技講座4日、現地見学2日)。初年30名を募集し、3年かけて90名養成する。 相談員の主な役割:①地元住民の質問に答えて、各家庭の生ごみ処理を支援。②自治会・町内会などの団体での生ごみ処理を支援する。
		資源循環課	市(291,200) 団(5,000)	
6 ○	里地里山の保全活動による地域環境再生と共生社会の確立(グランドワークの推進)	土屋里地里山再生グループ	3,737,654	荒廃山林、耕作放棄地を保全、再生及び活用するための里山保全活動として、農業者育成と環境教育セミナー、料理教室や里山文化祭を開催する。これらの活動を実施するために必要な、駐車場とトイレの整備、通路の構築と水路の再生を事業として行う。
		環境政策課、*	市(3,157,034) 団(580,620)	
7 ○	地域防災活動者育成研修の実施及び防災ニュースの発行	ひらつか防災まちづくりの会	818,700	地域防災に携わる人の育成を目的として防災活動者育成研修の実施と、自治会に対して防災に関する情報提供とネットワーク構築を目的として防災ニュースを発行する。①地域防災活動者育成研修(初級)自治会から選出された方々が対象、②地域防災活動者育成研修(中級)初級講座修了者等から希望者が対象、③防災ニュースの発行(自主防災組織間の情報の共有化を図り、地域インタビュー、編集作業等を行う過程で防災ネットワークを構築する)
		防災危機管理課	市(788,700) 団(30,000)	
↑ ○採択、△条件付き採択 ×不採択		提案事業費合計	6,372,854 市(5,525,234) 団(847,620)	* No.9の関係課:農水産課、みどり公園・水辺課、農業委員会、まちづくり政策課、土木調整課、開発指導課、建築指導課